



日本・パラオ共和国による 2005～2007 年 ICRI 事務局運営の概況

Andrew Bauman: Office of Environment Response and Coordination
Fabian Iyar: パラオ国際サンゴ礁センター(PICRC)
高橋啓介: 環境省自然環境局自然計画課

背景

2004 年 7 月 3～4 日に沖縄で開催された国際サンゴ礁イニシアティブ(ICRI)の総会において、日本とパラオ共和国政府が、2005 年 7 月から 2007 年 6 月までの 2 年間、ICRI の事務局を共同で運営することが、会議に参加した ICRI メンバーらによって了承・決議された。

2005～2007 年度 ICRI 事務局の体制

日本・パラオによる ICRI 事務局期間中は、日本の環境省とパラオ共和国の Office of Environmental Response and Coordination (OERC) が ICRI の執行当局者(Executive Authority)を担当する。執行当局者は、ICRI の運営や執行当局者をサポートするための ICRI の事務担当者(Designated Administrative Representative)として、(財)自然環境研究センター(日本)、UNEP World Conservation Monitoring Centre (UNEP-WCMC)、ならびに David Orrukem 氏(パラオ)を指定する。

計画の概要

1. ICRI 関係会合の開催
 - i. 事務局期間中に、3 回の ICRI 総会を開催・運営する。
 - ii. 日本とパラオ共和国は、最初の ICRI 総会をパラオ共和国で開催することを提案する。パラオ共和国政府は、最初の ICRI 総会を、US コーラルリーフ・タスクフォース(USCRTF)会合と前後してパラオ共和国においてホストできることを光栄に思う。総会の開催にあたっては、パラオ国際サンゴ礁センター(PICRC)が、事務局と共同で運営を担当し、設備も提供する。
2. ICRI 事務局機能の継続と強化
 - i. セイシェル総会において採択される予定である、改訂された「ICRI の構造に関する決議」文書(revised Decision of Organization and Management Procedures for ICRI)に記されている、事務局の任務や責任を果たす。
 - ii. これまでの事務局が築き上げてきた ICRI 事務局の機能や役割を継承するとともに、さらに強化していく。
3. ホスト国イニシアティブ

日本とパラオ共和国は、事務局期間中に、ホスト国が主導するプロジェクト(ホスト国イニシアティブ)の実施を希望している。ホスト国イニシアティブでは、日本とパラオ共和国間のパートナーシップのさらなる発展、ならびに、両国が属する

アジア太平洋地域の地域間及び地域内パートナーシップの強化、そして、それがさらに他地域の発展にも寄与できるような成果が得られるプロジェクトを実施したいと考えている。

ICRI メンバーへのリクエスト

ICRI メンバーは、[付録 1](#) に添付した質問票を記入し、日本-パラオ事務局に対する要望や意見を提出するようお願いする。提出された質問票は、事務局でとりまとめ、結果を ICRI Forum(ICRI 公式ホームページ)に掲載するとともに、内容を精査した上で、事務局の 2005～2007 年度実施計画に盛り込むこととする。

付録 1

ICRI メンバーに対する質問票

日本-パラオ事務局は、ICRI メンバーに対して、以下の質問票に事務局に対する要望や意見を記入し、事務局に提出するようお願いする。総会に出席できないメンバーも、質問票を記入して、icri@unep-wcmc.orgに提出することが出来る。提出された質問票の結果は、事務局でとりまとめ、分析して結果を ICRI Forum 上に掲載するとともに、内容を精査した上で、事務局の 2005～2007 年度実施計画に盛り込むこととする。

Q1. ICRI が今後 5 年～10 年間に力を入れて向上・構築した方が良いと考える分野がありましたら記入して下さい。
Q2. 次期 ICRI 事務局に対して、2005～2007 年度実施計画に盛り込んで欲しいリクエストがありましたら記入してください。
Q3. これまでのあなたの経験から、次期 ICRI 事務局のためになると思われるアドバイスがありましたら教えて下さい。
Q4. 2005～2007 年度の事務局期間中に、ICRI が代表者を送った方が良いと思われる重要な関係国際会はありますか？
Q5. 2005～2007 年度中に、サンゴ礁において最も問題になると思われる事項を挙げて下さい。
Q6. 次期事務局に最も保持し続けてほしいと思う有益な特徴は何ですか？

氏名: _____ 所属機関/出身国: _____